



■発行
大分市旭町文化センター
大分市旭町1番1号
TEL・FAX(097)546-2772
発行年月日 2022年7月1日



心寄り添う一歩を進めよう

大分市市民部長 沖田 光宏

「この地域で陽性者が出たのか。この誰なのか」「感染者が職場に居なくなり自ら命を絶たした」とのは本当なのか。これらは、わたしが保健所に勤務している時、実際にあった問い合わせの一部です。見えないウイルスへの不安の中、残念ながら感染者の排除につながる偏見や差別、そしてデマや誹謗中傷が存在することを痛感しました。しかし、こういった問い合わせがあった時、わたしたちは、感染者の特定に関しては「発表されている情報以外は答えられません」「また、確かな情報ではないことに対しては」「それはおかしいです。偏見や差別につながる可能性があまりあります」「言い続けました。粘り強く誤りを指摘し、正しい情報を発信することで、多くの方が理解をしてくださったように思います。

いわゆる「コロナ差別」のみならず、部落差別をはじめあらゆる差別がまだに存在しています。部落差別においては、情報の進展に伴って悪意のある偏見の流布、被差別部落の所在を暴露するアウティングなどが起きています。確かな学びのない人が、こういった情報に出合った時、その情報が正しいものであると認識し、差別をする立場になってしまつことが考えられるのです。

間違つた情報がある場合には、出合った時にきちんと否定すること。そして、差別の現状を目の当たりにした時には、「それはおかしい」と毅然とした態度で声を上げていくこと。差別を解消していくためには、そのような行動が大切であることを、過去の自分への戒めとともに、「コロナ禍」の体験から再認識しました。

大分市では「登録型本人通知制度」を行っています。住民票の写しや戸籍謄本などを第三者に交付した場合に、登録者に対して、交付した事実を通知する制度です。多くの市民の登録が、不正に取得しようとする行為を抑制する力を高め、差別につながる身元調査をなくすこととなります。「差別のない大分市」をめざして、今後この制度の周知に努めます。

最後に、保健所での体験をもう一つ紹介します。様々なご意見とともに、市民のみさんから激励の手紙や寄せ書き、千羽鶴などをいただきました。疲弊しきっていた職員にとっては癒しとなり、元気ができました。人と人とのつながりの大切さを感じるとともに、相手の気持ちに寄り添える人や差別を許さずにくすための行動をとる人が、大分市にもたくさんいることに気づかされました。

人と人とのつながりを断つてしまつ差別はなくなさなければなりません。差別は人がつくり出すものです。だからこそ、人がなくすることができると思います。わたしも差別をなくす主体者の一人として、歩みを進めていきたいと感じています。

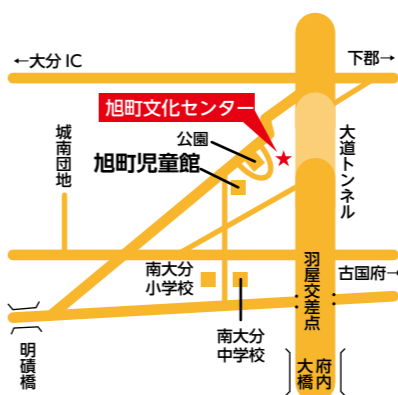
廻る時代 変わらない願い



8月は「差別をなくす運動月間」です

大分市では、8月を「差別をなくす運動月間」とし、同和問題(部落差別)をはじめとするあらゆる人権問題についての正しい理解と、差別のない明るい社会づくりをめざして、さまざまな啓発活動を行っています。
旭町文化センターにおきましても、差別をなくすための取組として、「暮らしの中の人権講座」、「人権を考える講演会」を開催します。
ぜひ、この機会に自分自身の人権意識を見つめ直してみませんか。

- 開館時間
午前9時から午後10時まで
(教室の開催時刻により
閉館時刻は異なります。)
- 休館日
土・日曜日・国民の祝日
及び休日・年末年始
- お問い合わせ
午前8時30分から
午後5時15分まで
☎546-2772



センター通信

本年度の人事異動で、旭町文化センターに着任しました藤本です。皆さまとのふれあいを大切に、気軽にご利用して頂けるよう務めたいと思いますのでよろしく願いいたします。



人権を考える講演会

日時 7月27日(水) 午後1時30分～3時

講師 公認心理師 / LGBTアクティビスト / 元タカラジェンヌ
ひがし こゆき
東 小雪 さん

演題 「LGBT基礎知識～こどもの心と体を守るために～」



講師プロフィール

1985年、石川県生まれ。
東京ディズニーシーで初の同性結婚式を挙げ、
日本初の同性パートナーシップ証明書を取得。(2017年に解消)
LGBT・女性の生き方・自殺対策について講演、研修、執筆など幅広く活動し、テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」、
AbemaTV「みのもんたのよるバズ!」、NHK Eテレ「ハートネットTV」、フォトジャーナリスト安田菜津紀さんとの
YouTube番組「生きづらいあなたへ」など出演多数。
著書に『なかつたことにしたくない 実父から性虐待を受けた私の告白』『同性婚のリアル』などがある。

夏休み

親子ビデオ鑑賞会 に来ませんか

日時 7月29日(金)
午後2時～3時30分

**こぎつねのおくりもの
(アニメ) 30分**

お地蔵様に化けたら団子をもらえることを覚えた三匹のこぎつねが、お供えをしてくれているおばあさんが落とした大切な写真を破ってしまいます。
悲しむおばあさんがその写真を大切にしていた訳とは…そこから始まる人間とこぎつねの心のふれあいを描いた感動のアニメーション。



はばたけ明日への瞳 51分

心に障がいをもつ優しい心でいつもうさぎをかわいがる少年。そんな少年を無視し、ときにはいじめたりする級の仲間達が次第に自分たちの非をさとり、少年を仲間として受け入れ、温かい友情で思いやり励まし合っってゆく様子をとりえた作品。



お知らせ 健康相談

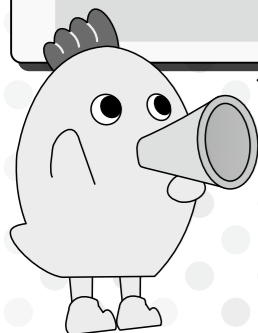
保健師による血圧測定や健康に関する相談をお受けします。
※健康手帳をお持ちの方はご用意ください。

日時 9月5日(月)
午後1時30分～3時

場所 旭町文化センター
中会議室



お友だちと一緒にきてね



2022年度 暮らしの中の 人権講座

旭町文化センターでは、「学ぼう・気づこう・とりくもう」を合い言葉に、毎年さまざまな分野から講師をお招きし、「暮らしの中の人権講座」を開催しています。

人権は、一人ひとりがお互いに尊重しあわなければならない生活の基本となるものです。わたしたちは、誰もが毎日を幸せに暮らしたいと願っていますが、身近なところで、なにげなく口にした言葉や行動により、相手を直接または間接的に傷つけてしまうことがあります。また、インターネット上では、モラルの低下による差別の深刻化が新たな問題となっています。

本講座を通して、あらゆる人権問題について考え、より一層認識を深める機会になればと思います。



1回目 7月14日(木) 午前10時～11時30分

講師 福岡県人権研究所副理事長
福岡県人権・同和問題講師団講師など
そのだ ひさこ さん

演題 「何で、今ごろ?～やっと、今ごろ!」
— 私たちにとっての人権・部落問題—

4回目 10月6日(木) 午前10時～11時30分

講師 植田公民館 館長
いっぼうし もとはる
一法師 本治 さん

演題 「知る」から「分かる」へ～分かれば変わる～

2回目 8月25日(木) 午前10時～11時30分

講師 (公財)鳥取市人権情報センター 研究員
きぬがさ なおき
衣笠 尚貴 さん

演題 「私たちは部落問題とどう向き合っていくのか」

5回目 12月1日(木) 午前10時～11時30分

講師 植田中学校 校長
かわの まさゆき
河野 正行 さん

演題 「どこでも人権～未来へつなぐ～」

3回目 9月8日(木) 午前10時～11時30分

講師 ジャーナリスト(元西日本新聞記者)
福岡県人権・同和問題講師団講師
ばば しゅういちろう
馬場 周一郎 さん

演題 「部落差別問題の現状と解決への展望
～40年間の取材活動を通して～」



みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。
おおいた市人権イメージキャラクター「キズナズ」 キッピイ

募集 パソコン教室 (Windows10)

9回 コース エクセル・ワード編

毎週 9月6日～11月1日
火曜日 午後1時30分～3時30分

定員 10人

簡単な文書の作成や表計算をします。

7回 コース 暮らしの中のパソコン編

毎週 10月5日～11月16日
水曜日 午後1時30分～3時30分

定員 10人

インターネットの楽しみ方や、はがきの作成など暮らしの中で活用できるコースです。

申込方法 当センターにご来館のうえ、直接お申し込みください。

受講は無料(教材費等は自己負担)です。

募集期間 7月4日(月)～
7月15日(金)

※定員(10人)を超えた場合は抽選になります。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、本誌に掲載している行事などは延期又は中止となる場合があります